

保護者が思う事業所の強み

- ・施設は清潔で安全面や体制が整い、子どもが安心して過ごせる環境が整備されている
- ・家庭的で温かい雰囲気の中、丁寧な挨拶指導や適切な声かけにより安心感と社会性が育まれている
- ・子どもの特性や課題、得意分野に応じた個別支援が充実し、成長を細かく支えている
- ・多様で充実したプログラムにより、楽しみながら新しい経験や学びを得られる
- ・自立に向けた生活習慣や対人関係の形成を支援し、主体性を育てている
- ・送迎や見守り体制が整い、保護者も安心して利用できる
- ・LINE やアプリ等で日々の様子が共有され、家庭との連携が取りやすい
- ・スタッフが親身で丁寧に対応し、子どもや保護者との信頼関係が築かれている

従業者が思う事業所の強み

- ・系列事業所間でスタッフ応援がしやすく、安心して業務に臨める
- ・子どもの特性に応じた高レベルの挑戦や新しい取り組みが可能
- ・柔軟な話し合いで意思決定し、清潔・整理された居場所を提供
- ・子どもファーストの理念が浸透し、1on1 で信頼関係を構築
- ・軽度障害に対応したプログラムや社会性向上支援（自宅電話報告など）を実施
- ・自主性や気づきを重視した声かけで児童の学ぶ姿勢を尊重
- ・5 領域に合わせた支援導入とホームページ活用で情報共有
- ・学校の悩みや出来事に寄り添い、送迎時や個別連絡で情報伝達
- ・個別面談・アセスメント・アンケートに Google 活用で迅速対応

保護者が思う事業所の改善点

- ・聴覚障がい児への配慮として、筆談や文字起こし等の支援強化が求められる
- ・得意分野に対し、より発展的で難易度の高い内容への対応が必要
- ・子どもの気持ちを聞く機会やカウンセリング的支援の充実が望まれる
- ・気軽に相談しづらくなった点の改善が必要
- ・行事参加の分かりづらさや、主体的関わりへの支援体制の整理が求められる
- ・緊急時対応の周知・明確化が必要

従業者が思う事業所の改善点

- ・職員体制が不十分で少人数での対応が多く、トラブルや情報不足への対応に課題
- ・保護者と会えず、活動報告や情報共有が不十分である
- ・災害対応や BCP の周知不足、事業所外トラブル対応に課題
- ・運営方針や長期計画が弱い
- ・研修充実、連携強化、外部交流、準備時間確保などの改善が必要

事業所の取り組み

- ・職員体制を強化し、対応やトラブル対応の負担を軽減
- ・保護者へ活動報告や情報共有を充実
- ・災害対応や BCP、緊急時対応の周知徹底と明確化
- ・子どもの得意分野に応じた発展的・高度な支援の提供
- ・カウンセリング的支援や気軽に相談できる環境整備
- ・主体的行動できるように支援体制を整理・強化

【事業所目標】

職員体制を強化し、保護者連携や災害対応を徹底。子どもの得意分野に応じた支援やカウンセリング、主体的に行動できるように支援を強化する。